

当事者こそが変える！人手不足の介護現場

主催：一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 中国・四国支部
開催日時：2021年6月26日（土）13:30～16:00
開催方式：オンライン開催
参加費：無料
参加者数：39人
登壇者：中国・四国支部 谷口公友 下元佳子 鈴木太 他

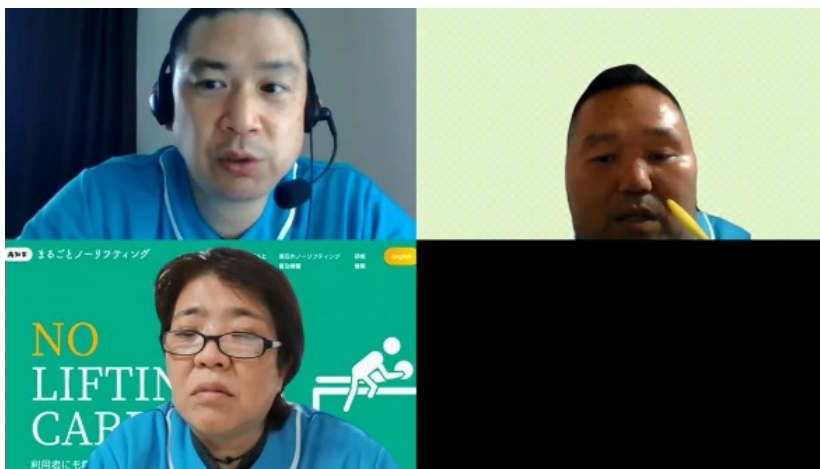


図1.ディスカッション風景：
谷口(左上)、下元(左下) 鈴木(右上)

中国・四国支部のテーマとしている「障害当事者こそが変える！人手不足の介護現場」をテーマにセミナーを実施しました。

谷口より（一社）日本リハビリテーション工学協会の紹介、下元よりノーリフティングの必要性を報告いたしました。そして当事者からの発信として、頸椎損傷者でもある鈴木より自身のリフト使用の生活の様子や必要性をお伝えしました。ゲストスピーカーとしては、小学生のななちゃんのお母さんより、リフトを使った生活で単に介護負担の軽減だけでなく、本人の遊びや経験できる幅も広がったこと、そして訪問リハの西川さんから在宅への導入の必要性と課題についての発信をいただきました。

当日は、当協会の会員、会員外の専門職、障害当事者の方も複数の参加がありました。

参加者の中には、終了後も残ってくれて意見交換ができ、この企画の継続の必要性をさらに感じた時間でした。